

第2回 まちづくり村民会議 記録

日 時	平成 22 年 3 月 20 日	場 所	くすのきホール 2 階第 1 ・ 2 会議室
部会名	第 1 グループ	出席者	5 名

■ 議論内容：○良いところ ●悪いところ ☆提案

立地、位置のギャップ

- 買い物ができるお店がほとんどない
- 交通の便が悪い

みのり

- 野菜、みかんがたくさんとれる
- 他地区よりも遅れ採れる野菜に付加価値をつける地域差の利用
- ☆ イノシシの肉を売ったら（レストラン）
- すいせんの花
- ひがん花の景色
- 棚田
- 温和な人が多い

活用

- ☆ 年金組の利用（金、労力）
- ☆ 道の駅と農産物直売所の統合を
- 使用されていない施設の再利用がなされていない
- ☆ 廃校の有効利用
- 小吹台に空き家が多い
- ☆ 空き家の活用、促進 芸術家の住める村
- ☆ 手作り村の形成。空き家利用につなげる
- ☆ 空き地が多い。再利用
- 自然を生かしきれていない
- ☆ せっかく自然資源に恵まれていながら活用されていない（金儲けを。ガメツさを）

資源

- 緑が多い鳥の声がきこえる
- 自然が多い
- 伝統的なお祭り行事
- 金剛山の価値
- 何も無いことの良さ

人口のかたより

- 若い人が外へ出て行くのを引き止める施策がない
- 学校が少人数で先生の目が届きやすい
- ☆子育て家庭への優遇処置をして若者人口を増やす

現状の評価

- H28 年以降収支見込が減速 職員のヤル気、将来性？
- 不安全感

むらづくりの方法

- 行政システム（姿勢）の問題
- 村としての指導性がない
- 行政側に実行力、危機感がない
- 村の財政上のムダがある
- 公的な建物の活用
- 村民の意志が十分反映されていない
- 村の動きが分からぬ
- 村内イベントの連携がない
- 村のホームページの不備
- 観光事業 P R 不足
- 村の収入を図る計画に乏しい
- ☆ 今回の村民会議で一つでも実行できることをまとめる

(行政改革)

- ☆役場の仕事内容の事業仕分けをやめる仕事！
- ☆事業の柱の確立、既存事業の見直し
- ☆職員の仕事の能率化
- ☆行政のトップが正しい判断と決断力でもって実行する強い姿勢が必要
- ☆財政を再確立するには、組織の変革が必要
 - ・議員定数の削減
 - ・行政の議員の若返り（新規採用もする）
- ☆観光を利用してお金儲けを考える
- ☆職員の意識改革
- ☆府を巻き込んだ事業展開

第2回 まちづくり村民会議 記録

日 時	平成 22 年 3 月 20 日	場 所	くすのきホール 2 階第 1 ・ 2 会議室
部会名	第 2 グループ	出席者	5 名
■ 議論内容			
村のよい点、悪い点			
よい点		悪い点	
(自然・環境・歴史)			
<input type="radio"/> 自然が多い (緑が豊か) <input type="radio"/> 空気が良い (空気がうまい) <input type="radio"/> 水がきれい <input type="radio"/> 景色が良い <input type="radio"/> 歴史的な遺産が豊富 <input type="radio"/> のどかな環境			
(生活)			
<input type="radio"/> 静かである (騒音がない) <input type="radio"/> 人が少ない <input type="radio"/> 村がコンパクトである		<ul style="list-style-type: none"> ● 生活しにくい ● 生活用品店がない (店がない) ● コンビニがない ● 医院が少ない ● 高齢者の移動に便利な足がない ● バスの運行時間帯が狭い ● 交通不便 ● 道路不備 ● 医院が少ない 	
(村のイメージ)			
<input type="radio"/> 一冊の絵本のような村 <input type="radio"/> 大阪府唯一の村 <input type="radio"/> 大阪府のふるさと <input type="radio"/> ゆったりと時間が流れる			
(村人の気質)			
<input type="radio"/> 封建的ではない		<ul style="list-style-type: none"> ● 村に特徴が少ない ● 個性がない ● 閉鎖性 ● 回りの人たちの顔色を見ている 	
(産業)			
<input type="radio"/> 豊富な農地がある <input type="radio"/> 農作物が豊か <input type="radio"/> お米がおいしい <input type="radio"/> 農民の方が個人のブランドに目覚め元気 <input type="radio"/> 農業を大切に考えている人もいる		<ul style="list-style-type: none"> ● 空き家農地の斡旋がされていない ● 村の特産物がない ● 農産物の販売所が少ない ● 道の駅が小さい ● 観光的な場所が少ない 	
(コミュニティ)			
<input type="radio"/> 消防団は活動している <input type="radio"/> 祭りや花火がすばらしい <input type="radio"/> 村のしきたりを守れば受け入れてくれる		<ul style="list-style-type: none"> ● 子供会が成り立たない ● 世話をする人が決まっている ● 村というより都会的なコミュニティ ● コミュニティのつながりは希薄化 	

(子育て)	
<input type="radio"/> 優しい子ども達がいる村 <input type="radio"/> 生徒数が少なく先生の目が行き届く <input type="radio"/> 子ども達の学歴が上がっている <input type="radio"/> 山村留学の受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもが少なくなり地域に活気がない ● 子育てしやすくない（保育所・学童遠い）
(土地利用)	
<input type="radio"/> 自由に使える公共の土地がある <input type="radio"/> 活用可能な公共施設がある <input type="radio"/> 休耕地の活用ができる	
(行政など)	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政職員の意識の公務員化 ● 行政サービスの低下 ● 議会としての機能が不十分
(村づくり)	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 村おこしを考えている人が少ない ● 改革のリーダーの不在 ● 元気がない ● 村の宣伝が十分されていない ● 村を売り込む意識がない ● 若者達が帰ってこない ● 60歳以上の村外への転出（転居）が多い ● 廃校利用など十分に検討されていない
(提案)	
<ul style="list-style-type: none"> ・廃校を利用して千早赤阪村でクラフト展を行う ・廃校を利用して芸術家をよぶ（工房を探している人やアトリエを探している人は多い） ・菜園付きの週末住宅の需要はある ・空き家を活用する ・就農支援センターの設置 ・村づくり課の設置 	

第2回 まちづくり村民会議 記録

日 時	平成 22 年 3 月 20 日	場 所	くすのきホール 2 階第 1 ・ 2 会議室
部会名	第3グループ	出席者	4名

■ 議論内容 ●悪いところ ○良いところ

☆提案

自然

- 自然がいっぱい
- 緑が多い
- 静かなところ
- 熱帯夜がない
- 空気がきれいで星がきれいに見える
- お散歩を楽しめる
- 水が清い
- 水がおいしい
- 山の木が間伐されずに残っている ⇒ 活用がない 切る人がいない
CO2 吸収量の減少 花粉の飛散など

歴史・文化

- なわとび
- 秋祭り、春祭り・・・地車
神楽、おもちまき（世代間で）
- 伝統行事に皆で参加できる
- 校区別は盛り上がる（徒競走は特に）
- 歴史の宝庫である
- 大楠公城跡・・・
千早城、上東阪城、下東阪城
- 村は農山村
- 金剛山を中心に杉+桧の山林
- 金剛山が近くにあり登山を楽しめる

産業

- 千早川を幹用水路が配置
- 第一次農作地 段々畑

人・教育

- 教育の村発展
- 子ども会活動に対する保護者の理解がない（役員になりたくない etc）
- 子どもが素直
- おじいちゃん、おばあちゃんが子育てに参加してくれる
- 幼稚園、保育園、小学校の頃からの躾が良い中学生を育てている
- 子どもの学習態度が非常に良い
- 中学校の部活動が大変活発（高校に入つても全国レベルの選手を出している）
- 少人数で少ない数のクラブだが府下でも優秀
- 学校教育 徒歩通学
- お兄ちゃんお姉ちゃんに教えてもらえる
- 近隣の人々の顔が見える（役場も含めて）
- 住みやすい
- 親しみやすい
- 一人一人にていねい

交通・インフラ

- 不便
- 店がない
- 買い物が不便
- ゴーストタウン化している
- 夜道が怖い
- 交通が不便
- 高齢者の交通手段がない

○福祉について話題が出なかったのは、日常の助け合い、ボランティアが生きているから？